

## 邑智小6年生 「竹細工学習」



【5月31日(月)】講師に二又茂樹さん(“伝承の技を紡ぐ”竹タックの会 事務局長)をお迎えしました。「伝承文化～竹細工～」について、竹の性質や竹製品、技術のすごさなどの話を、画像を見ながら聞きました。竹の成長の早さや竹の年齢、種類、竹の編み方などを学び、実際に色々な竹製品を見たり触ったりしました。



## 邑智小6年生「竹細工学習」感想

- 実際に竹細工をさわった感想は、編みである所がでこぼこしていていい組み合わせだなあと感じました。(Nさん)
- ぼくは、竹が1年で大人になるということを知り、人間と全然ちがうなあと感じました。職人さんでも竹細工は1日に一つか二つぐらいできると聞いて、意外に少ないなあとおどろきました。(Tさん)
- 実際にさわってみると、つるつるしていたり、ざらざらしていたりする物もありました。竹にもいろいろな特ちょうがあることが分かりました。(Yさん)
- 二又さんのお話を聞いていると、竹細工をやってみたくなってきました。竹細工についての知識をもっと深めていきたいです。(Iさん)

## 古文書教室の活動紹介



石見銀山資料館の仲野義文館長を講師にお迎えし、町内の古文書を用いて、代官所関係の公的なものから人々の暮らしに関わるものまで、館長の歴史研究に基づいた味のある解説で学んでいます。ここで一部紹介します。

3月、薬草採取を奨励する条文(九日市村)、薬の効能を宣伝するチラシ(上野村)、沢谷の村々や浜原から上流の村々が共同で出雲大社に猪退散祈禱を依頼した際の経費負担の記録(長藤村)。

4月、銀行のなかった時代に民間の金融・互助制度である頼母子講(たのもしこう)や志儀(しぎ)により困窮した家を救済する事例(小林村、酒谷村)。

5月、粕淵の祭礼運営に関して費用負担の取り決め、御幸の行列に関すること、境内で奉納する舞のことなどの記録。

以上、崩し字の勉強のみならず、江戸時代の美郷町について学んでいます。ご興味のある方は、是非ともご参加ください。

## □腔体操 楽しい早口言葉

▼ 赤カマキリ 青カマキリ 黄カマキリ

▼ カエルがラリルレロ リルレロラ ルレロラリ って鳴く

※ いろは倶楽部では、タクシー送迎ができます。詳細は、浜原隣保館にお尋ねください。

## いろは 倶楽部

7月28日(水)  
13:30~15:30

脳トレ

ゲーム・体操

工作・塗り絵

療育音楽

## 教養講座

～ ちろうて気づき ～

隣保館では、同和問題をはじめ様々な人権問題の解決につながる取組をしています。



そのひとつとして、教養講座を開き、人権意識を高めるためのミニ研修を行います。また、教養講座の開講式、人権・同和問題学習会、閉講式にあわせて、講演会を開きますので、是非とも参加していただきますようお願いいたします。

## 相談事業

人権相談、生活相談、就労相談、福祉・健康相談、教育相談など幅広く相談に応じています。

隣保館での相談内容は『外部にもれることなく、料金もかかりません』お気軽にご相談ください。

## 7月の予定

13(火) 楽しいちぎり絵教室  
14(水) 押し絵教室  
16(金) 俳句教室

28(水) いろは倶楽部  
29(木) 健康教室(前田美佳さん指導)  
30(金) 古文書教室

